

患者様へ

[研究課題名] 早期肺腺癌における置換性増殖率別の浸潤径と予後との関連性の検討

[研究期間] 実施許可日から 2022 年 3 月 31 日

[研究の対象]

2010 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日までに奈良県立医科大学附属病院あるいは奈良県総合医療センターで手術を施行され、肺腺癌でステージ I と診断された患者様。

[研究の目的]

肺癌は、近年より浸潤径を測定することが必須となっています。このうち腫瘍径と浸潤径が異なってくるのは主に腺癌で肺胞上皮置換性増殖（浸潤を伴わない成分）が存在する場合がありますが、実際は浸潤部と置換性増殖部の境界が分かりにくく、肺癌の浸潤径を正確に測定するのは難しいことが多いです。浸潤径は診断者によって異なる割合が高いという報告もあります。浸潤径が予後に影響することが報告されていますが肺腺癌全体を対象とした報告がほとんどです。この研究では置換性増殖の割合別に浸潤径を含む因子と肺癌の再発の有無を調べて両者に関連性があるかどうかを検討し、全ての肺腺癌において浸潤径を測定する必要があるかどうかを検討します。

[研究の方法]

カルテから患者様の年齢、性別、手術後の経過、術後治療薬の使用の有無を調べます。また、手術時に採取された肺癌組織標本から腫瘍径や浸潤径、上皮内癌成分・低分化癌成分の割合、組織型異型度、核異型度、脈管侵襲、腫瘍周囲肺胞腔内に散布された腫瘍細胞の有無を調べます。

[研究の開示]

本研究は本学の医の倫理審査委員会で承認され学長の許可を得ておりますが、国の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者様お一人ずつから直接同意を得ることが困難である場合は研究内容の情報を公開することが必要とされております。

[個人情報の扱い]

患者様のお名前や住所など個人を同定できる情報は使用せず、研究の発表や論文で患者

様を特定できないように致します。研究対象から除外してほしいという希望のある場合は
下記問い合わせ先までお申し出ください。

[研究機関名・研究責任者名]

奈良県立医科大学 病理診断学講座 伊丹 弘恵

[問い合わせ先]

奈良県橿原市四条町 840 電話：0744-22-3051 (内線 4307)

奈良県立医科大学 病理診断学講座 助教 伊丹 弘恵